

〔派遣〕

派遣研究者	独立行政法人 物質・材料研究機構 主幹研究員 古海 誓一	2012003
研究集会名	Collaborative Conference on 3D & Materials Research (3DMR)	
出張期間	平成 23 年 6 月 27 日～平成 23 年 7 月 1 日	
開催場所	大韓民国 済州特別自治道（済州島）	
発表論文	Organic Photonic Crystals for Laser Applications	

概要：

今回講演を行った「Collaborative Conference on 3D & Materials Research (3DMR)」は、3次元に関するディスプレイおよび材料科学に関する国際会議である。主催は Kwangwoon University で、Springer と Materials Research Society (MRS) が共催であった。今回は韓国・済州島の Ramada Plaza Jeju Hotel で開催された。参加者は 100 名程度であり比較的こじんまりとしていたが、日本、韓国、中国といったアジア諸国のみならず、アメリカ、ドイツやイギリスといったヨーロッパ諸国、さらには南アフリカからの研究者も参加していて、文字通り『国際会議』という雰囲気であった。

口頭講演は、研究者の専門分野によってディスプレイと材料科学の 2 つ会場が用意されていた。私を含め参加者のほとんどが招待講演であり、30 分間の口頭発表を行った。私は材料科学の講演会場で聴講していたが、有機材料、高分子材料、無機材料、半導体材料、生体材料等の多種多様な材料を使った研究が発表されていて、活発な討論が行われていた。著名な海外研究者も講演されていて、プレゼンテーションのまとめ方はとてもわかりやすく、私にとって今でも脳裏にやきついている程、印象的であった。今後のプレゼンテーションの参考になった。

本国際会議は参加者が多すぎず、多くの研究者と交流ができたことが良かったと思う。特に、私にとって、共同研究を締結しているアイルランドの研究者と直接会って、ディスカッションできたことが良かった。さらに、他の国内外研究者と初めて意見交換をすることもでき、とても有意義な国際会議であった。